

Close up
だて



—「声」で情報を伝えます—

朗読ボランティア「やまびこ」

代表 ^わ ^{じま} ^{れい} ^こ 輪島玲子さん
(弄月町)

皆

さんが読んでいる「広報だて」。この広報紙をボランティア団体が朗読し、「声の広報だて」という音声広報が作られていることをご存知ですか。

その作業に携わるのは、朗読ボランティア「やまびこ」の皆さん。平成5年、市が視覚障がいのある方を対象に「声の広報」事業をスタートし、その事業に協力したボランティア5名で発足したのが始まり。現在は会員21名で、広報紙や市議会だよりなどを朗読したCDを、希望する視覚障がい者へ届けるなどの活動をしています。

「利用者の皆さんに内容をどのように伝えるか。日々勉強をすることはばかりです」と話してくださいるのは、同代表の輪島玲子さん。読み聞かせボランティアなどの経験を持ち、朗読講習会を受講したことがきっかけで平成6年に入会、現在も活動に励んでいます。



朗読ボランティア「やまびこ」の皆さん

読むことが好きという共通点を持つ会員の皆さんですが、ただ「読む」のではなく、利用者が聞きやすく、また、内容をわかりやすく届けるために、録音の前に原稿を何度も読み返し、一字一句確認することを忘れません。

「朗読で大切なのは、声を作ろうとせず、内容を相手にきちんと伝えようとする気持ちを持つことです」と輪島さんは朗読に対する思いを話してくれました。

そんな活動を続ける「やまびこ」は、今年で20年という区切りの年を迎えます。

最後に輪島さんは、「より多くの人に聞いてもらえるように今後も活動を続けていきたいです」と決意を話してくれました。

20周年を機に、「やまびこ」は新たなスタートを迎えます。

朗読ボランティア
「やまびこ」

一緒に活動を行いたい方、CDを聴いてみたい方ご連絡ください。

☎ 輪島さん (☎25-6653)

だて

発行・編集 伊達市企画財政部企画課
☎ 0142-23-3331 内線238・239
FAX 0142-23-4414
✉ kouhou@city.date.hokkaido.jp
〒052-0024 北海道伊達市鹿島町20番地1

楽
画
記

■今日は3月15日。またまたホームページをやってます。広報紙の仕事は本当にそっちのけで…いよいよ公開まで2週間に迫り、徐々に自分が担当させてもらったことの重大さに気づく。でもこのホームページを見るかもしれない人の数、たかが「全世界で70億人くらいか!?(じ)」
■春は別れの季節。出会いの季節。3月に卒業式や送る会が行われ、4月には入学式や迎える会と新しい生活が待っています。ついこの間自分も久々に別れと出会いがありました。人生において欠かせない経験ですね。さて4月発行「広報だて」の楽画記で最後になるのは…?(よ)
■2ヵ月ぶりに出勤して(じ)さんの憔悴ぶりに驚きました。寝ても覚めても「ホームページ」…この楽画記を書いている今、公開まではあと数日。公開して終わりではありませんが山を一つ越えることにはなります。血と涙の結晶、1年かけてまとめ上げた作品です。ぜひご利用になってください。(や)